令和６年度市長と伊東市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会　意見一覧

日時：令和７年１月２７日（月）　午後６時３０分～午後７時１５分

場所：市役所　８階大会議室

①　学校施設の老朽化への対応について

②　体育館への空調設備の設置等について

③　児童生徒の登下校に係る課題について

④　学校環境の維持について

⑤　学校給食費の無償化及び物価高騰対策について

⑥　不登校支援等の教育課題について

⑦　高校生の通学費等の補助について

⑧　学校再編、空いた学校の利活用について

⑨　ＩＣＴ教育に係る教員への支援について

⑩　育成会への支援について

⑪　姉妹都市提携６０周年について

⑫　入学祝金の前倒し支給と増額について

⑬　学校の体育館へのＷｉ－Ｆｉ環境の整備について

⑭　体育館への空調設備の設置等について②

⑮　伊東小学校の空調について

令和６年度市長と伊東市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会における意見及び回答（要旨）

意　　見	区	**子育て世帯−①**

学校施設の老朽化への対応について

各校の校舎の老朽化も進み、外壁が落下する危険やロッカー、下駄箱などの破損により児童生徒がけがをする恐れがあります。また、教科書がＡ４サイズになったことや一人一台端末の導入によるランドセルの大型化等で、大きさ的にも不具合が生じています。

児童生徒が安全に学校生活を送るための改修工事や、時代の変化に応じた教室環境の整備を計画的に進めていただくようお願いします。

あわせて、昨年度、建物の全面的なリニューアルを伴う長寿命化改修の大規模工事を検討するとの回答をいただいていますが、今後の見通しや改修工事の優先順位及び優先理由等、具体的に教えてください。

回　　答

学校施設につきましては、児童生徒の安全・安心を重視し、良好な教育環境で、確かな学力を身に付けるため、発達段階に応じた質の高い施設整備を行う必要があると認識しております。

児童生徒の安全・安心を一番に考え、限りある予算の中から、緊急かつ必要な修繕・工事を行ってまいります。

また、長寿命化改修工事は、修繕経費の平準化を目的に実施するものでありますが、優先順位とその選定理由等につきましては、現在審議している学校の適正配置の検討結果を踏まえて、進めてまいりたいと考えております。

令和６年度市長と伊東市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会における意見及び回答（要旨）

意　　見	区	**子育て世帯−②**

体育館への空調設備の設置等について

各校の体育館の老朽化が激しく、特に伊東小学校では窓の開閉に不具合が生じており、換気や雨漏りなどの問題が頻発しているのが現状です。そのため、夏の暑さや雨漏り等、日常の教育活動にも影響が及んでいます。

また、各校の体育館は、災害時の緊急指定避難場所、指定避難所になっています。学校の教育活動だけではなく、地域にも開放する施設として、体育館の空調設備の設置をお願いします。今後の見通しと市としての見解を教えてください。

回　　答

各校の体育館は必要に応じ修繕しておりますが、容易に不具合が直らない場合もございます。

今後につきましても、学校活動に影響しないよう対応してまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

体育館への空調機器の設置につきましては、近年の猛暑を受け、文部科学省が空調設備整備臨時特例交付金を設けるなど、避難所を兼ねた体育館への設置機運が全国的に高まっております。

現在、本市では、校舎特別教室等への空調機器設置や、令和９年蛍光灯生産終了に伴うＬＥＤ化への切替工事に重点を置いておりますが、昨今の猛暑などの状況に鑑み、体育館内温度が極めて高くなることも把握しておりますことから、安全・安心に利用できるよう、避難所を兼ねた体育館への空調設備設置について、検討を進めてまいります。

令和６年度市長と伊東市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会における意見及び回答（要旨）

意　　見	区	**子育て世帯−③**

児童生徒の登下校に係る課題について

伊東小学校では、道路に面した石垣のつつじを整備していただき、子どもたちや地域住民の方々が安全に歩行できるようになったとのことで、大変感謝しております。今後も安全や防犯上、通学路等の整備を積極的に行っていただけるよう、予算の確保をお願いします。

また、現在実施されている南・川奈小学校及び東・西・旭小学校の統合に伴う通学支援が保護者や児童のニーズに合ったものになっているか、利用状況、課題をどのように把握しているかを教えてください。

登下校に公共交通機関（路線バス等）を利用する子どもたちにとって、バスの本数が限られ、下校時刻に応じたバスがない等、利用し難い現状があります。児童生徒の安全な登下校の確保について、市としてどのように考えているのか教えてください。

回　　答

始めに、通学路につきましては、毎年実施している「子供の移動経路合同点検」において指摘があった箇所について、順次整備を行っております。

令和６年度は、池地区の四辻線と八幡野地区の八幡野・浜入口線の歩行者空間の整備を行いました。

令和７年度も、引き続き、この二つの路線を整備してまいります。

また、川奈地区の新規路線である西鬼ケ窪・水無田線の着手を予定しております。

今後につきましても、児童生徒が安全に登下校できるよう、整備に努めてまいります。

次に、通学支援につきましては、旧川奈小学校の児童については、通学定期券の全額補助を行っており、対象となる世帯のうち、およそ半数が利用されております。

また、旧西小学校と旧旭小学校の児童については、スクールバスによる登下校支援と通学定期券の全額補助を行っており、スクールバスは令和５年度、６年度

ともに３００人前後の申込みを受付け、７割超の世帯が利用している状況でございます。

運行につきましては、令和５年度に保護者向けアンケートを実施しているほか、乗降者状況の確認、学校からの情報提供など、要望を最大限把握できるよう努めております。

課題につきましては、運転手不足による今後の輸送体制の維持のほか、利用実態に合わせた車両台数の調整などが挙げられます。

最後に、公共交通機関につきましては、南中学校や南小学校、富戸小学校、対島中学校などにおいて、路線バスを利用して通学している児童生徒がいると伺っております。

路線バスは、スクールバスのように下校時刻に応じた運行は出来ませんが、バス事業者に対し、子どもたち以外のバス利用者のニーズとも調整を図り、登下校時間にも利便性の高いダイヤで運行が行えるよう申し入れを行ってまいります。

令和６年度市長と伊東市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会における意見及び回答（要旨）

意　　見	区	子育て世帯−④

学校環境の維持について

学校の校庭や校舎内の環境整備について、日常的な清掃等で対応できない箇所や内容は、各校、ＰＴＡ奉仕作業等により対応していますが、少子化が進み、ＰＴＡの会員数も年々減少している中、奉仕作業の回数や作業内容等、縮小せざるを得ないのが現状です。今後、少子化はさらに進んでいくことが想定されます。子どもたちがより安全で衛生的な環境で学校生活を送るために、これまで奉仕作業で行ってきた校舎内の清掃や校庭の樹木の伐採、側溝の泥上げ等について、業者委託等の予算確保をお願いしたいです。

回　　答

学校の開校や校舎改築時などに植樹された樹木につきましては、長い年月を経たことから大きく成長していることは把握しており、継続的に伐採予算は増額しておりますが、対応が追い付いていない状況にあります。

これまでＰＴＡ組織などによる学校環境の向上が図られてきましたが、全ての経費に公費を充てることは莫大な予算が必要となりますことから、頼らないための予算の確保を目指しつつ、環境維持の在り方についても検討してまいります。

令和６年度市長と伊東市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会における意見及び回答（要旨）

意　　見	区	**子育て世帯−⑤**

学校給食費の無償化及び物価高騰対策について

学校給食の無償化については、国の動向を注視しながら、進めてくださっているものと理解しておりますが、今後の動向を教えてください。

また、物価高騰が社会的な課題にもなっています。学校給食への影響として、質や量の低下が懸念されますが、成長期の子どもたちにとって、学校給食は栄養バランスも整い、食育の観点からも、とても大切な生きる教材となっています。生涯を通して必要とされる食習慣の確立のためにも、学校給食の充実、地産地消の継続、質の維持をお願いします。

回　　答

学校給食の無償化につきましては、保護者の皆様の負担軽減のため、前向きに検討を進めているところでございます。

本市の学校給食運営は、物価高騰により厳しい局面を迎えておりますが、創意工夫し、給食の質を確保してまいります。

令和６年度市長と伊東市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会における意見及び回答（要旨）

意　　見	区	**子育て世帯−⑥**

不登校支援等の教育課題について

不登校児童生徒が増加、低年齢化する中、その要因や背景は様々で、既存の教育支援センターにも行くことができず、居場所を失っている子どもたちが増えています。その保護者は、対応に悩み、仕事にも制限がかかり、精神的にも経済的にも負担が大きくなります。学校に行くことができない子どもたちが抱える問題に応じた子どもの居場所や支援する人材の確保を求めます。

また、今年度から中学校に不登校相談員が配置されていますが、不登校の低年齢化の傾向もあるため、小学校にも拡充していいただきたいです。

回　　答

今年度から、少しでも学校に登校できるよう、別室など落ち着いた空間で学習や生活ができる環境を学校内に整備していけるよう不登校相談員を配置し始めました。

また、教育支援センターでは、学校に行くことができない児童生徒がセンターで学習支援を受けたり、体験活動をしたりするなど、社会的自立を目指し活動しております。

これらの場所に来られていない児童生徒が関わりを持つことができるように、人材の確保等を含め、今後もより一層不登校児童生徒の学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整えられるよう努めてまいります。

令和６年度市長と伊東市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会における意見及び回答（要旨）

意　　見	区	**子育て世帯−⑦**

高校生の通学費等の補助について

高等学校の統廃合により通学距離が長くなったり、市内の進学先選択の幅が狭くなり、市外への進学を選択せざるを得なかったりする状況があります。保護者の負担は、通学費、送迎、お弁当の準備等、経済的にも時間的にも大きくなるばかりです。

高校生が安心して充実した学びを獲得するため、保護者が安心して子育てができるようにするためにも、高校生に対する通学費の補助等、他市町の状況を参考にしなから、市としての具体的な支援の実現をお願いします。

市独自の支援の可能性について、昨年度からの進捗状況もあわせて教えてください。

回　　答

市内に住む高校生を対象とした通学費等の補助につきましては、半数程度の生徒が市外に通学しており、相当な通学費がかかっているものと思われますことから、高校生の通学に係る状況等を総合的に勘案しながら、本市独自の支援の可能性について研究してまいります。

令和６年度市長と伊東市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会における意見及び回答（要旨）

意　　見	区	子育て世帯−⑧

学校再編、空いた学校の利活用について

伊東市の学校再編の検討がされていることについての報道がありましたが、伊東市の学校再編が今後どのように進んでいく予定になっているのか、検討の進捗状況と見通しを教えてください。

あわせて、通学支援の拡充を求めます。

また、現在空いている学校（旧川奈小学校、旧西小学校）の活用方法や公募の進捗状況、今後統廃合により使わなくなる学校の使用方法をどのように考えているのかを教えてください。

回　　答

始めに、学校再編につきましては、現在行われている教育問題懇話会で審議されており、審議結果は、令和７年２月に教育委員会へ答申される予定になっております。

答申後のスケジュールといたしましては、教育委員会が市長と協議、調整をし、各地区の小・中学校の再編についての素案を決定後、地域や保護者の皆様への説明会、パブリックコメントを実施した上で、「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針」に基づく後期方針を策定いたします。

また、通学支援につきましては、当懇話会においても最重要事項の一つであると認識しており、学校再編により保護者の皆様の過大な負担にならないよう検討してまいります。

次に、学校の跡地の利活用につきましては、旧川奈小学校については、施設貸付け先の民間事業者を選定するための公募型プロポーザルを実施し、二事業者からの応募がありましたが、事前に設けた得点基準に達する事業者がいなかったため、今回は事業者の選定に至りませんでした。

今後につきましては、募集の方法等を検証し、必要に応じて見直しを行った上で、再度募集を行う方向で検討してまいりたいと考えております。

旧西小学校につきましては、令和２年１２月に提出された市内各種団体からの推薦や公募による委員からなる「図書館・文化ホール建設に向けた検討会」の最終報告の中で、現段階で最適と考えられる新文化ホールの建設候補地として選定されており、今後の社会情勢等を適正に見極める中で建設地を決定してまいります。

最後に、今後の統廃合により未利用となる学校施設の使用方法につきましては、本市に設置する伊東市有財産ファシリティマネジメント検討委員会において、庁内における利用意向や把握している市民ニーズ等を勘案した中で、まずは行政目的での利活用について検討してまいります。

検討の結果、行政目的での利用が見込まれないと判断した場合には、民間事業者への売却や貸付け等の活用の可能性を検討してまいります。

令和６年度市長と伊東市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会における意見及び回答（要旨）

意　　見	区	子育て世帯−⑨

ＩＣＴ教育に係る教員への支援について

各校へのＩＣＴ支援員の派遣は十分に足りているのか、研修等の時間確保はできているのか等、現状と課題をどのように捉えているか教えてください。

回　　答

本市では、ＩＣＴ支援員を各校に派遣しており、授業支援等を進めております。

また、今年度は、夏季に授業でも使用している教育支援ソフトの活用研修を実施しております。

今後につきましても、研修等を通して、教員がＩＣＴ教育を進めていけるよう努めてまいります。

令和６年度市長と伊東市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会における意見及び回答（要旨）

意　　見	区	子育て世帯−⑩

育成会への支援について

青少年健全育成活動応援補助金の交付状況について、現状（申請件数や内容等の実績）と課題を教えてください。

あわせて、伊東市施設（青少年キャンプ場、伊東市民体育センター等）の予約がなかなか取れない状況の緩和について、手立ての検討はされているのか教えてください。

伊豆の国市野外活動センターのような施設を作っていただけるとよいと思います。

回　　答

始めに、伊東市青少年健全育成活動応援補助金の交付状況につきまして、１月１６日現在での令和６年度の実績をご説明いたします。

この補助金の対象となる活動は、青少年応援活動と青少年交流活動に分けられます。青少年応援活動は、１年間を通じた青少年健全育成活動を指します。交付件数は３６件、交付金額は３５５万５，０００円です。

青少年交流活動は、市外の子どもと交流することを目的とした活動を指します。交付件数は７件、交付金額は３４万４，９００円です。合計４３件、３８９万９，９００円となっております。

補助制度の周知が進んでおり、現在、特段の課題はございません。

次に、市の施設の予約が取りづらいというご意見につきましては、青少年キャンプ場は、１日１団体のみの貸出しであり、必ずしも利用希望日に予約が取れない場合があることは承知しておりますが、市内民間事業者が運営するキャンプ場もございますことから、現在のところ、伊豆の国市野外活動センターのような施設を新たに設ける予定はございません。

伊東市民体育センター等の社会体育施設につきましては、各競技連盟や協会が大会等を開催するために早期の会場確保が必要であることを考慮し、年度最初の予約開始に先立ち、年間利用調整を実施しております。

また、市内団体が練習場所を確保できるよう、学校教育に支障のない範囲内で学校施設の開放も行っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和６年度市長と伊東市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会における意見及び回答（要旨）

意　　見	区	子育て世帯−⑪

姉妹都市提携６０周年について

令和７年度には、姉妹都市提携６０周年を迎えるため、諏訪市との交流について検討するとのことでしたが、具体的な内容と進捗状況等について教えてください。

回　　答

姉妹都市締結６０周年記念事業につきましては、今年度の地域タウンミーティングのテーマに掲げ、どのような交流をしたらより友好・交流関係が深まるか、市民の皆様から様々なご意見・ご提案をいただきました。

その中で、子どもたちがお互いの市のことを学び、交流し、友達を作ることができるような事業であれば、将来に渡り友好・交流関係を継続することができるのではないかというご意見があったことから、諏訪市と協議を行い、両市の子どもたちがお互いの市を訪問し、交流できるような事業を計画しているところでございます。

また、年齢を問わず、多くの皆様が交流できるよう、相互の訪問が促進できるような事業も考えております。

皆様におかれましても、ご家庭や学校、地域において、姉妹都市締結６０周年の周知や、記念事業の実施にご理解・ご協力をいただき、一緒に盛り上げていただけたらと思います。

令和６年度市長と伊東市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会における意見及び回答（要旨）

意　　見	区	子育て世帯-⑫

入学祝金の前倒し支給と増額について

社会・経済情勢や国における支援の動向、市の財政状況等を勘案した上での、入学祝金の支給時期や金額の検討結果を教えてください。

回　　答

入学祝金贈呈事業につきましては、他市町では実施のない本市の独自事業であり、次代を担う子どもの健やかな成長を喜び、今後のさらなる成長を願うための祝意を表すお祝い金であり、その金額も子ども１人当たり５万円と、決して低額ではないと考えております。

今年度、国が児童手当の拡充を行い、子育て世帯への経済的支援が充実したことを勘案したうえで、入学祝金の支給時期や金額については現状維持としておりますが、今後も社会・経済情勢や国における支援の動向等に注視し、検討してまいります。

令和６年度市長と伊東市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会における意見及び回答（要旨）

意　　見	区	子育て世帯-⑬

学校の体育館へのＷｉ－Ｆｉ環境の整備について

公共施設や観光施設を優先的にＷｉ－Ｆｉ環境の整備を進め、令和６年度は、生涯学習センターやコミュニティセンターの一部に整備するとのことでしたが、その進捗状況と、学校の体育館に整備する計画についての検討の有無、今後の優先順位等について教えてください。

回　　答

始めに、生涯学習センターやコミュニティセンターにつきましては、令和６年度は、生涯学習センターひぐらし会館、八幡野コミュニティセンター、宇佐美コミュニティセンターにＷｉ－Ｆｉ環境整備工事を実施しております。

進捗状況といたしましては、年度内に工事を完了し、令和７年度中に供用開始を予定しております。

次に、学校屋内運動場につきましては、Ｗｉ－Ｆｉ環境整備の具体的な計画はありませんが、強く要望している学校やＬＡＮケーブルの延伸距離が比較的短い学校から個別の検討を行っておりますので、整備可能な学校から整備を進めてまいります。

意　　見	区	子育て世帯−⑭

体育館への空調設備の設置等について②

先程、文部科学省が空調設備整備臨時特例交付金を設けているとのことでしたが、市としては、今後この交付金の申請を行い、整備を進めていく方針なのでしょうか。

回　　答

当該交付金の申請を前提として試算を始めているところでございますが、空調設備の設置工事と併せて体育館の断熱性を確保するための工事も行う必要があり、相当な費用がかかると見込まれております。

一度に全校に設置するということは現実的ではございませんので、複数年かけて計画的に進めていくことになると考えております。

また、短期的には、スポット的に冷却することができる機器の試験的な導入を検討しております。

なお、万が一、猛暑の時期に大災害が発生した場合、学校での教育活動が困難な時や、夏休み期間中で校舎を使用しない時には、教室を開放できるように各校と申し合わせを行っております。

令和６年度市長と伊東市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会における意見及び回答（要旨）

意　　見	区	子育て世帯−⑮

伊東小学校の空調について

先程、猛暑の時期には教室が避難場所になるかもしれないとのことでしたが、伊東小学校の教室は空調があっても暑いです。昨年は暑さのために授業参観が中止になりました。一度調査をしていただいた方がいいと思います。

回　　答

市職員が複数回に渡り現地で温度を計測しており、校舎の階数が上がるほど熱が溜まりやすい傾向があると報告を受けております。

今後も、引き続き調査を続けながら、対策を検討してまいります。